

10/26 (水)
18:30 - 21:00

理論編
第3回

数歩先行く障害福祉

違うって面白い。
障害への向き合い方を考える

誰もが「働く」ことが 当たり前前の社会へ ～障害の限界に挑む～

障害者に限らず、自分にとって
よい働き方を追求することが重要。

存在意義なくして自己実現はありません。
故に働くことは人間にとって最も基本的
な営みであると考えています。

文教学院大学 客員教授
松為 信雄氏

社会福祉法人 はらから福祉会
理事長 **武田 元氏**

会場：さくらワークス関内

(横浜市中区相生町3-61 泰生ビル 2F JR 関内駅より徒歩5分、みなとみらい線馬車道駅より徒歩5分)

定員：50名 (先着順)

対象：このテーマに関心のある方ならどなたでも
(障害福祉現場などの職員、教員、学生、保護者、当事者の方など)
※手話通訳等必要なサポートについては申込時にお知らせ下さい。

参加費：各回一般 2,500円・学生 1,000円 (税込)

共催：公益財団法人 横浜 YMCA

(公財) 日本社会福祉弘済会 社会福祉助成事業

月額工賃
7万を目指す
わけは？

誰もが「働く」ことが 当たり前な社会へ



障害がある人は新しい発想や感覚を持った価値のある存在だと認めるだけでは、社会的な自立にはつながりません。「人は働いてこそ、社会的に承認され、自己実現にもつながる」「障害者にも就労から雇用への転換、経済的自立が必要」との考え方にに基づき、どうすれば当たり前働くことができるのか。障害者就労研究の第一人者、月額工賃 7 万円実現に迫る現場のトップランナーとともにその答えを探ります。



武田 元氏 プロフィール

宮城県公立学校教員として、高校 8 年間、肢体不自由養護学校 13 年間、知的障害養護学校 10 年間勤務。平成 9 年、54 歳のとき、社会福祉法人はらから福祉会 蔵王すずしろ施設長となったのを機に、教員を退職。平成 18 年より社会福祉法人はらから福祉会理事長。著書は「豆腐づくりは夢づくり」(萌文社 2007 年 きょうされん発行)。



松為 信雄氏 プロフィール

東京福祉大学、神奈川県立保健福祉大学教授を経て、文京学院大学教授その後現職。障害者の職業リハビリテーションに長年携わる。一億総活躍国民会議民間議員、厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会委員、文部科学省特別支援教育総合研究所運営理事外部評価委員長、日本職業リハビリテーション学会顧問、日本精神障害者リハビリテーション学会常任理事、日本発達障害学会常任編集委員等を務める。



お問合せ・お申込み NPO法人 よこはま地域福祉研究センター

お名前(ふりがな)、所属、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記までお申込み下さい。

web http://yresearch-center.jp/shogai2016_2/

Eメール top@yresearch-center.jp

お電話 045-228-9117 (受付時間 月～金 10:00～17:00)

FAX 045-228-9118

